

## 令和元年度森林土木セミナー 治山技術の歴史を学ぶ—治山の研究・教育に果たした先人の役割—

林野庁所管の治山事業は、その前身である森林治水事業が明治44年に開始されてから100年を超える歴史を持っており、これまで全国の山地・海岸に多くの施工地や施設がつけられて、国土保全に大きな貢献を果たしています。これらを支えた治山技術は、江戸時代、明治時代のはげ山復旧の技術を底流とし、明治時代末期に、来日したホフマンや留学した諸戸北郎らにより、オーストリアからの近代的な技術が導入されて、大きな発展を遂げました。特に、治山の研究・教育体制は、明治33年に東京帝国大学林学科に、ホフマンや諸戸北郎が教鞭をとった「森林理水及び砂防工学講座」が作られたのが始まりであり、その後、大正時代・昭和初期における先人たちの努力によって、近代的な治山技術の礎が確立しました。

今回の森林土木セミナーでは、「治山技術の歴史を学ぶ」をテーマとして、治山の研究・教育に果たした先人の役割について知見をお持ちの学識経験者をお招きして、お話をお聞きしたいと思います。

森林部門技術士会（担当：森林土木部会）

**主 催：**森林部門技術士会・公益社団法人日本技術士会森林部会

**期 日：**令和元年(2019年)6月25日(火)14時半～17時(受付開始14時)

**場 所：**日林協会館3階大会議室（東京都千代田区六番町7）

JR四ツ谷駅から徒歩5分

[http://www.jafta.or.jp/contents/gaiyo\\_chizu/1\\_list\\_detail.html](http://www.jafta.or.jp/contents/gaiyo_chizu/1_list_detail.html)

### プログラム：

1. 開会 14:30
2. 講演 14:30～16:30

治山技術の歴史を学ぶ—治山の研究・教育に果たした先人の役割—

「アメリゴ・ホフマンと諸戸北郎の足跡」(仮)

東京大学名誉教授 鈴木雅一（すずき まさかず）

3. 質疑応答・討議 16:30～17:00
4. 閉会 17:00

**C P D：**森林分野C P Dプログラム認定、参加票発行

### 講師略歴

鈴木 雅一（すずき まさかず）

1974年京都大学農学部林学科卒業。1979年京都大学農学研究科博士課程修了（農学博士）。

京都大学農学部助手を経て、1992年東京大学農学部助教授。

1998年東京大学大学院農学生命科学研究科教授。

2015年停年退職。現在、東京大学名誉教授。

専門：森林水文学・砂防工学

元砂防学会会長（2010～2012年）。農林水産省林政審議会委員(2011～2015年)。

林野庁等の各種委員会の委員長を務める。